

社会人のための人権入門 「新入社員向け人権研修」

ISO26000のJIS規格、JIS Z 26000が制定されるなど、あらゆる組織の「社会的責任」がクローズアップされている。企業に対しても、一丸となってコンプライアンスをはじめとする「社会的責任」に配慮することが求められており、新入社員のうちから「人権の視点」をもって仕事に取り組むことが、今や企業が社会的責任を果たす上で重要な基礎となっている。

そこで、当センターでは、新入社員や新入社員教育・研修担当者を対象とした人権研修を開催。人権ライブラリー多目的スペースで、6月13日・14日の2日間にわたって3人の講師による集中講義を行った。当センターとして初めての試みだったが、約30人が参加し、熱心に受講した。

2日目午後は、ハラスメントの防止や人材育成事業を行っているアトリエエム株式会社代表取締役の三木啓子さん（写真右）が、「しない、させない、許さない ～ハラスメントのない豊かな職場をめざして～」と題して、セクシュアル・ハラスメントおよびパワー・ハラスメントについての講義を行った。

「ハラスメントチェックシート」を使用した自己診断やパワー・ハラスメントの被害者・加害者・第三者の役になり、ハラスメントの精神的苦痛をさまざまな角度から知ることのできるロールプレイ（写真下）を行った上で、ハラスメントの事例、背景、対策や相談を受けるときの注意点について語った。



参加者の声

- ・ハラスメントが身近に起こりうる問題であることがわかった
- ・ロールプレイを行うことで多くのことを感じることができた
- ・わかっているつもりのがわかっていないことが知れてよかった
- ・興味深い人権研修の方法を知ることができた